

奉 加 帳



パリ・パラリンピック（女子円盤投げ）出場決定

おめでとう！！ 鬼谷 慶子選手

高知学芸高校 54 期生の鬼谷慶子選手が、5月20日、神戸ユニバー記念競技場で行われたパラ陸上世界選手権に初出場し、女子円盤投げでアジア記録となる14m49cmをマークし、見事、銀メダルを獲得。この結果、今年パリで行われるパラリンピックの女子円盤投げの日本代表に内定しました。

数々の苦難を乗り越え、パリ行きの切符を手にした鬼谷選手。現在は9月に開催されるパリでの大一番に向けて着々と準備を重ねています。高知学芸高校卒業生初、そして日本を代表して戦う彼女の今後ますますの活躍を祈念し、物心ともに応援していきたいと思えます。趣旨をご理解いただき、ご支援ご協力のほどよろしくお願いいたします。

『鬼谷 慶子を応援する会』

高知学芸高校 19 期有志
高知学芸高校 19 期有志代表 谷本博昭

電話：090-4336-7890

鬼谷「想像以上の記録」



女子円盤投げ(座位F53)14歳49で
2位の鬼谷慶子
＝神戸ユニバー記念競技場

パラ切符 初出場でつかむ

女子円盤投げ座位の新星がパラリンピックの切符をたぐり寄せた。20日のパラ陸上世界選手権で29歳の鬼谷は初出場の舞台でアジア記録を樹立し、銀メダルを獲得。パラ出場を確実とし「パリは目標だったが、想像以上の記録が出て信じられない」と目を丸くした。

(上面参照)
専用の投てき台に座ると、左手でハンドルを握って、右手で円盤を投げる。体幹を鍛え、鬼谷の自己最高は11歳42だったが、オフから取り組んだ筋力強化の成果もあり「練習からいける」と自信を持って臨んだ。2投目に体を思いっきり動かして14歳49を投げ、4投目にも14歳台を奪った。

高知市出身で学芸中1年からは「社会と接点ができるような人が多くなればうれしい」と自信を口にした。(鍋田)

20歳で脳の難病を発症。背もたれのない椅子には座れないほどの障害を負ったが、作業療法士に勧められ、リハビリを経てフィードバックに帰った。重度障害の選手層が薄い日本では期待の星だ。「自分の活躍を見てやってみたい」と思っている。

※5/21 高知新聞 15面から引用



井上副知事 表敬訪問



桑名市長 表敬訪問